

ユーザーガイド

Profoto A2

他言語は以下にアクセスしてください。

Pour les autres langues, veuillez consulter :

www.profoto.com/support



新しい Profoto 製品をご購入いただきありがとうございます。 とうございます。

新しいフラッシュやライトシェーピングツールを含む弊社の製品には、ほぼ半世紀に及ぶノウハウが蓄積されています。

長らく弊社が重視してきたのは、わずかな細部にもこだわるということです。わたしたちは、十分に自信の持てるものだけを Profoto の製品としてお届けしています。各製品は出荷前に、多岐にわたる徹底的な検査を受けており、一定水準の性能、品質、および安全性に適合していない製品は出荷されません。

2

こうして出荷された Profoto 製品は、お客様を長期的に支援できると確信しています。とはいえ、製品の購入はその過程のほんの始まりにすぎません。ライティングには多様な創意工夫が伴いますが、弊社では、あらゆるライティング方法、幅広いライトシェーピングツールと常に最新技術を取り込んだ製品を提供できることを誇りにしております。

ライティングの可能性は無限です。最初は戸惑うかもしれませんが、すぐにコツを掴めるでしょう。

弊社の Profoto アプリをダウンロードして MyProfoto アカウントに登録していただくと、Profoto デバイスの管理や、製品情報とアップデートを確認することができます。トップクラスの写真家によるライトシェーピングを理解するためのヒントやコツもお届けします。弊社の持つ 50 年を超えるライトシェーピングの経験を分かち合うことで、皆さんの成長のお役に立てれば幸いに思います。

ぜひ Profoto 製品をご活用ください。

Conny Dufgran (創業者)

一般的な安全上の注意事項



安全上のご注意

装置を操作する前に、必ずクイックスタートおよび安全ガイドとユーザーガイドをお読みください。クイックスタートと安全ガイドは常に確認できる場所に保管してください。Profoto製品は屋内での使用を想定して作られています。湿度や強い電磁場にさらされる可能性のある場所、または可燃性のガスや粉塵のある場所に装置を置いたり、そのような場所で装置を使用したりしないでください。装置に水滴などがからないようにしてください。花瓶など液体の入った容器を装置の上や近くに置かないでください。水や塵、ほこり、虫などのゴミが製品に混入した場合は、装置に触れずに、Profoto サービスにお問い合わせください。装置を湿度が高い条件下で急激な温度変化にさらさないでください。本体内部で結露が発生する可能性があります。バッテリーの改造、分解、開封、落下、粉砕、穴あけ、60°C以上の加熱、焼却、または切断をしないでください。熱の蓄積を防ぐため、バッテリー（バッテリーパックまたはバッテリーが取り付けられた装置）を直火または直射日光から遠ざけてください。火災や火傷、破裂、爆発、電解液の漏れや破損の危険性があります。排出物は有毒です。漏れや破損が発生した場合は、十分な換気を行ってください。さらされた人を新鮮な空気のある場所に移し、医師の診察を受けてください。バッテリーまたはバッテリーのセルを短絡させないでください。セルから液漏れした場合、液体が皮膚や目に触れないようにしてください。皮膚や目に入った場合は直ちに真水で洗い流し、医師の診察を受けてください。バッテリーが熱くなった、変色したり、変形したりした場合は、使用を中止してください。バッテリーの充電には、Profoto 充電器のみを使用してください。他のメーカーのライトを接続したり、ライトシェーピングツールを使用したりしないでください。前面レンズにひび割れや深い傷など、目に見える破損があり正常に動作しない場合は、使用を中止して正常な製品と交換してください。製品ケースにひびが入った場合は製品の使用をただちに止めて、Profoto サービスまでご連絡ください。フラッシュ製品に使用されるタイプのコンデンサは破損する可能性を排除することはできません。破損した場合、フラッシュ製品から煙とともに鋭い臭いが放出することがあります。放出物が顔にかからないようにしてください。もし放出物が目や口に入った場合は、水ですすいでください。放出物は無毒です。電解液が皮膚に触れた場合は、水と石鹸で洗い流してください。電解質は口にしないでください。車などの高温または低温の環境に放置された製品を操作したり、バッテリーを取り付けたり、充電したりしないでください。製品を承認された動作温度に到達させてからご使用ください。スタンドを使用するときは、必ず装置がしっかりと取り付けられていることを確認してください。モデリングランプの定格電圧が、電源に関して記載されているユーザーガイドの技術データと一致していることを確認してください。閉所に設置しないでください。製品の周囲には常に換気のためのスペースを残し、換気口を覆わないでください。フィルター、拡散板などを装置の換気の給気口や排気口の上に置いたり、グラスカバー、モデリングランプまたはフラッシュチューブの上に直接置いたりして換気を妨げないでください。製品を日光、熱源、火などの過度の熱にさらさないでください。Profoto の製品は、写真や動画などの撮影を目的に提供されており、それ以外の用途は想定されていません。



警告 - 感電 - 高電圧

ねじ込み式カバーを開けたり取り外したりすると感電する恐れがあります。本製品をご自分で修理しないでください。装置の点検、調整、修理は必ず公認の資格を持つサービススタッフのみが行うものとします。警告 - 稲妻のマークが付いた端子は感電の危険があります。スタジオライト、ジェネレーターやフラッシュヘッドの蓋を開けたり、分解したりしないでください。装置は高電圧で動作します。フラッシュ、ジェネレーター、またはランプヘッドは、電源オフやバッテリーを取り外した場合でも、しばらくは感電の危険があります。チャージャーの主要ケーブルとプラグは、主電源から接続を切るデバイスとして機能します。バッテリーチャージャーを電源から取り外す際には、ケーブルではなくプラグを引き抜いてください。本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届く状態にしてください。正常なフラッシュチューブおよび/またはモデリングライトなしに装置を操作しないでください。



注意 - やけどの危険 - 高温部品

高温の部品に素手で触らないでください。モデリングランプやフラッシュチューブを使用すると、特定の金属部品、フロントレンズ、ガラスカバーが使用時に強い熱を発する場合があります。どのランプもごくまれに爆発し、高温の破片が飛び散ることがあります。モデリングランプやフラッシュチューブを人に向ける場合は近づけすぎないようにしてください。



警告 - 大きいノイズ

装置から突然大きな音がする可能性があります。聴覚保護具を使用するか、ジェネレーターとユーザー/その他周囲の人との間に18 cm (7 inch) 以上の最低安全距離を取ってください。



注意!

本製品から危険の可能性のある光線が放射されます。動作ランプを直視しないでください。目を傷める恐れがあります。フラッシュが発光されることを予期していない被写体や重機操作中の人、または予期しないフラッシュにより怪我や危害を引き起こす可能性のある活動を行っている人に向けてフラッシュを発光しないでください。遠く離れた場所からリモートでフラッシュがトリガーされることもありますので注意してください。LED 定常光、3500 K、CRI 80。



最終廃棄処分

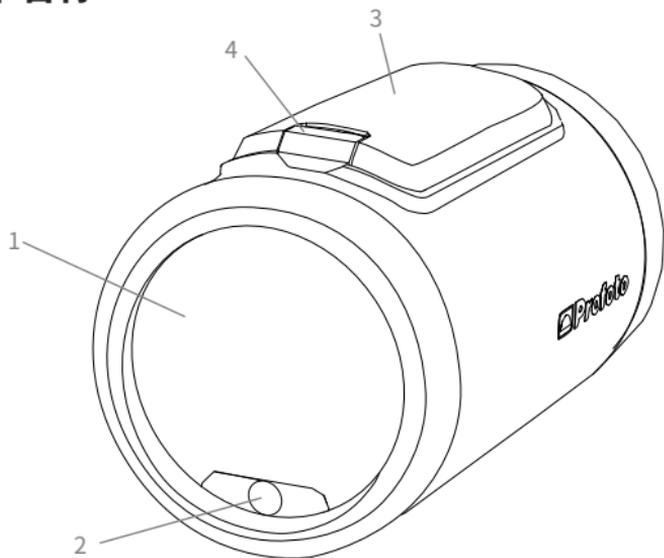
製品が寿命に達した場合は、家庭ゴミと一緒に処分しないでください。装置には環境に有害な可能性のあるバッテリー、電気部品および電子部品が含まれています。装置はProfoto販売店に無料で返却いただくことによって、リサイクルに活用することができます。バッテリー、電気部品および電子部品の処分については、それぞれ現地の規制に従ってください。

目次

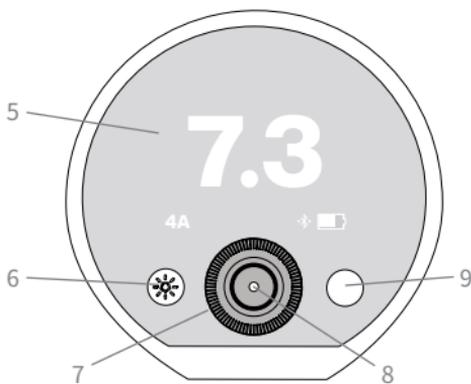
一般的な安全上の注意事項.....	3
各部名称	7
はじめに.....	10
安全義務.....	10
製品登録とファームウェアアップデート	10
バッテリーを充電する	10
バッテリーの取り付けおよび取り外し.....	12
スタンドアダプターを取り付ける.....	13
ライトスタンドにフラッシュを取り付ける	14
三脚またはボールヘッドにフラッシュを取り付ける.....	15
アンブレラを取り付ける	16
Profoto Clic ライトシェーパーを取り付ける.....	17
基本的な操作	18
電源オン/オフ.....	18
フラッシュの出力を調整する	18
定常光	18
設定メニューのナビゲート.....	19
設定メニュー	20
Air グループ	20
Air チャンネル	20
Air	20
Bluetooth	20
定常光	21
詳細設定.....	21
Control sounds (操作音)	21
Warning sounds (警告音)	22
Display brightness (ディスプレイの明るさ)	22
スタンバイ.....	22
Auto off (自動 OFF)	22
概要.....	22
Regulatory info (規制情報)	22
Factory reset (出荷時の設定に戻す)	22

接続	23
Profoto リモートとの接続を設定する	23
Profoto アプリ	24
その他の機能	25
クイックバースト	25
誤露出アラーム	25
ヘッドオフ	25
その他	26
お手入れ方法	26
シリアル番号およびファームウェアバージョン	26
技術仕様	27
一般仕様	27
クレジット	28

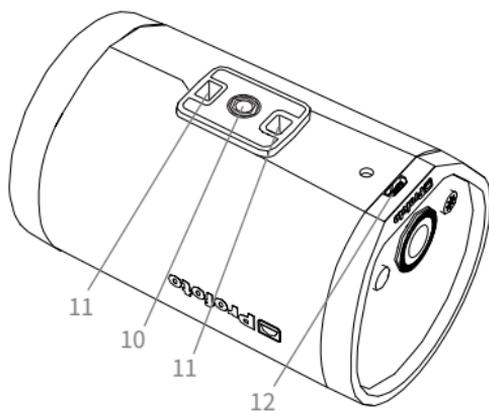
各部名称



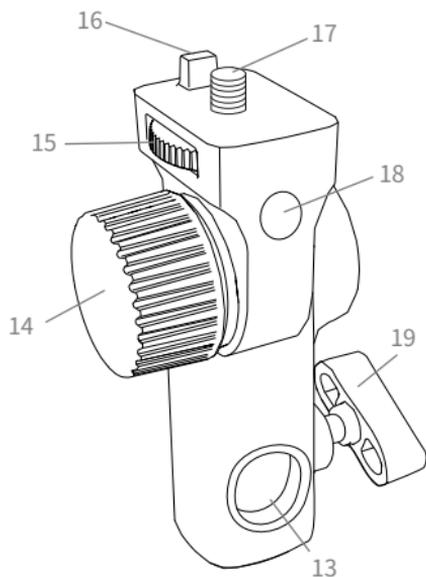
- | | |
|------------|-----------------|
| 1. フロントレンズ | 3. バッテリー |
| 2. LED定常光 | 4. バッテリーリリースボタン |



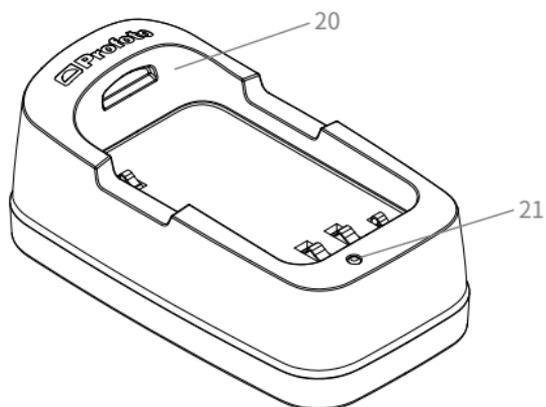
- | | |
|-----------|----------------------|
| 5. ディスプレイ | 8. 設定ボタン |
| 6. 定常光ボタン | 9. テストボタンとON/OFF ボタン |
| 7. ダイヤル | |



10. スタンドアダプター取付位置 12. USB Type-C
11. 位置調整ピンの穴



13. スタンドスタッドマウント 17. 取付ねじ
14. チルトロックノブ 18. アンブレラホルダー
15. 取付ねじホイール 19. クランプねじ
16. 位置調整ピン



20. バッテリーチャージャー

21. バッテリーチャージャーインジケータ

はじめに

安全義務

A2 フラッシュの使用を開始する前に、本ユーザーガイドのほか、クイックスタートおよび安全ガイドをお読みいただく必要があります。製品を安全に操作していただくための重要情報や、規制に関する重要情報が記載されています。クイックスタートおよび安全ガイドの印刷版が、A2 とともに提供されています。多くの言語に翻訳されています。本ユーザーガイドをダウンロードしたのと同じ場所でダウンロードすることもできます。

製品登録とファームウェアアップデート

ご使用前に、製品登録とファームウェアアップデートが必要です。A2 を初めて起動すると、Welcome 画面と QR コードが表示されます。この QR コードをスマートフォンでスキャンすると、A2 のセットアップ方法を説明するウェブページに移動します。

バッテリーを充電する

最適なパフォーマンスを実現するため、使用する前にバッテリーを完全に充電してください。バッテリーは、どの充電レベルからでも充電できます。A2 に同梱されている Profoto のバッテリーチャージャー以外使用しないでください。

バッテリーを充電する：

1. バッテリーリリースボタン [4] を押し、A2 からバッテリーを引き出します。
2. バッテリーをバッテリーチャージャー [20] に入れます。



3. バッテリーチャージャーをコンセントに接続します。
4. チャージャーインジケーター [21] が、充電中であることを示すオレンジ色に点灯していることを確認します。
5. 充電が完了すると、バッテリーチャージャーインジケーター [21] は緑色になります。ケーブルではなく、プラグを持ってバッテリーチャージャーから外してください。

注

- お手入れ前や不使用时はバッテリーチャージャーをコンセントから抜いてください。
- ライフタイムを向上させるために、バッテリーを充電しないまま長時間放置しないでください。バッテリーを深放電すると、技術仕様に記載された時間よりも充電時間が長くなることがあります。
- バッテリーの充電中は布などの可燃性物質と接触させないでください。
- バッテリーチャージャーのインジケーターがオレンジ色に点滅している場合は、バッテリーエラーが発生しています。Profoto 販売店にお問い合わせください。

チャージ温度

温帯の屋内環境 (約 20°C) バッテリーはより広い温度範囲 (0~45°C) で充電できますが、高温または低温で充電すると、充電時間が長くなったり、バッテリーの寿命が短くなったりする場合があります。

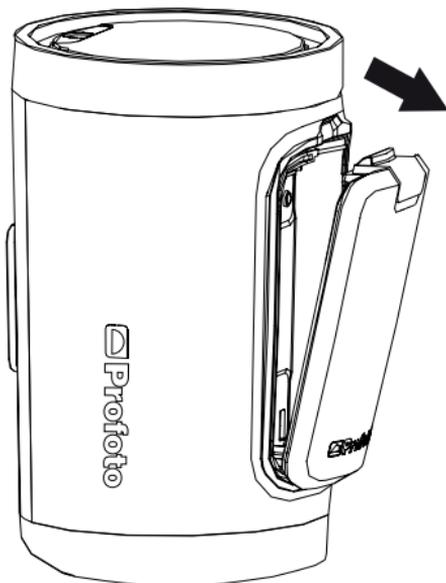
保管温度条件

30～50%の充電レベルで、温暖で乾燥した屋内環境（約 20℃）。長期間保管する場合は、バッテリーの消耗を防ぐため 6 か月ごとに充電レベルを確認してください。ほこりや腐食性ガスがないところで保管してください。短時間に限り、バッテリーをより高い充電レベルで、最高 45℃ までの環境で保管できます。

バッテリーの取り付けおよび取り外し

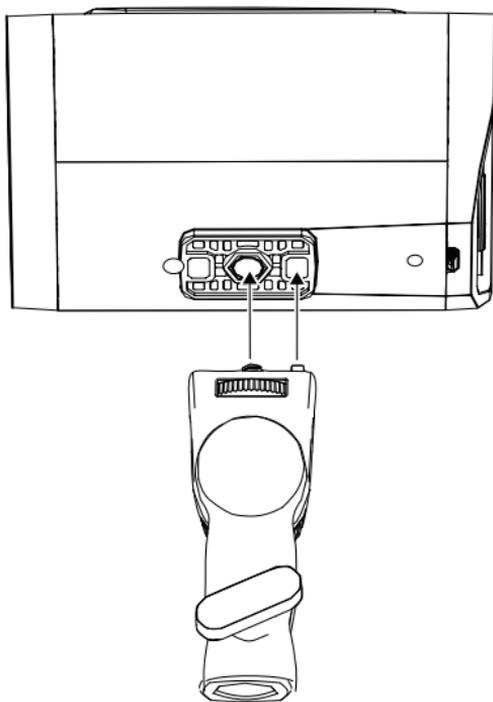
バッテリーを取り付けるには、下図のようにバッテリーをA2に収めて、カチッという音が聞こえるまで押します。音がすれば、きちんと固定されているということです。

バッテリーを取り外すには、まずA2の電源をオフにします。バッテリーリリースボタン[4]を押し、バッテリーを引き出します。



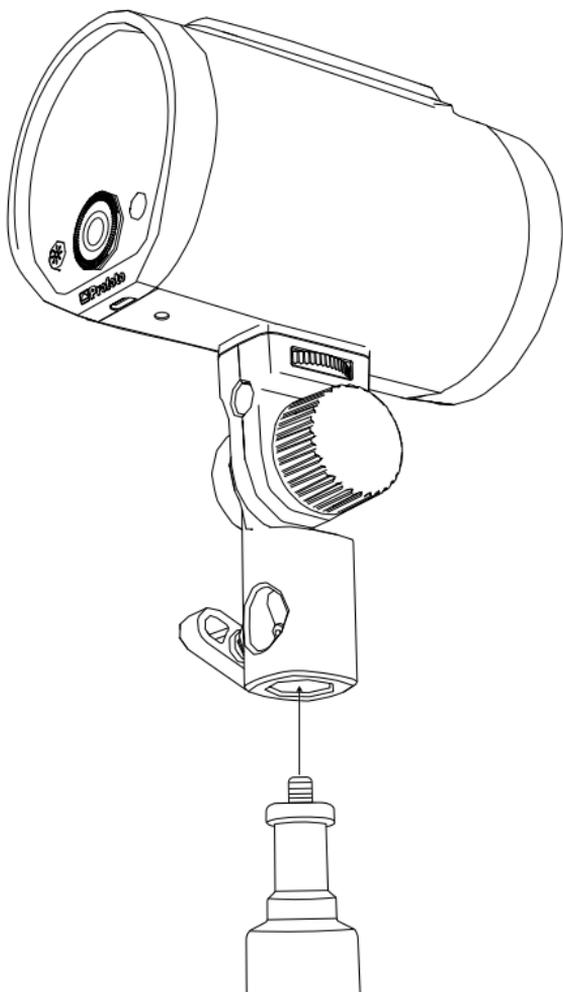
スタンドアダプターを取り付ける

1. スタンドアダプター取付ねじ [17] と位置調整ピン [16] を A2 の取付位置 [10] と位置調整ねじ穴 [11] の 1 つにはめます。
2. 取付ねじホイール [15] を使用して、スタンドアダプターが固定されるまで取付ねじを締めます。



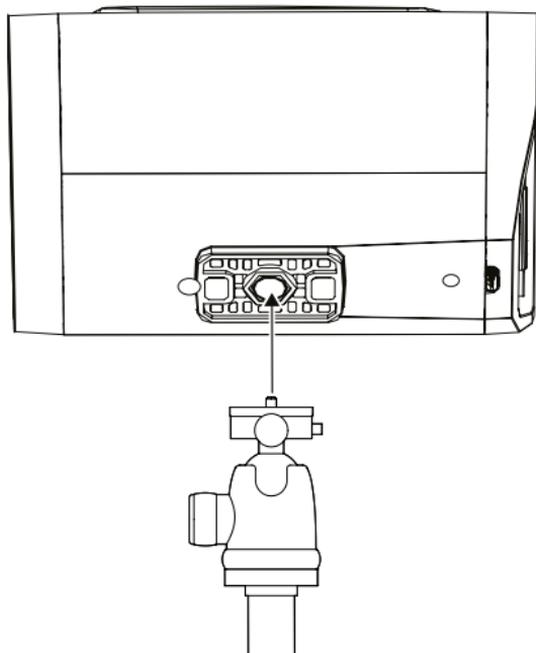
ライトスタンドにフラッシュを取り付ける

1. A2にスタンドアダプターを取り付けます。
2. A2のスタンドスタッドマウント [13] にライトスタンドスタッドを取り付け、クランプねじ [19] で固定します。
3. チルトロックノブ [14] をゆるめて、チルトポジションを調整します。
4. チルトロックノブ [14] を締めて、チルトポジションを固定します。



三脚またはボールヘッドにフラッシュを取り付ける

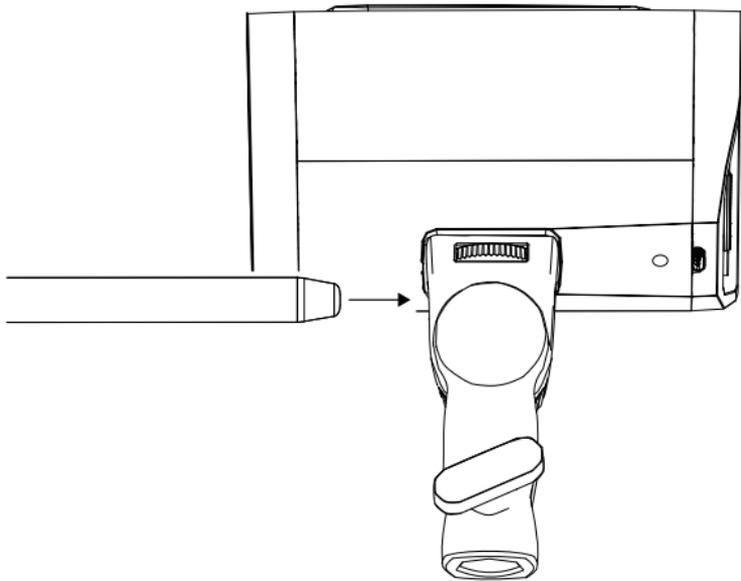
1. A2からスタンドアダプターを取り外します。
2. A2の取付位置[10]に三脚またはボールヘッドを取り付けます。



アンブレラを取り付ける

アンブレラホルダーはスタンドアダプターに統合されています。アンブレラホルダーにはめるには、アンブレラシャフトの直径は7mm~8mmでなくてはなりません。

1. A2にスタンドアダプターを取り付けます。
2. アンブレラシャフトをスライドさせ、摩擦を感じる場所を通過してアンブレラホルダー [18] に入れます。
3. アンブレラがご希望の位置になるまで、引き続きアンブレラシャフトをスライドさせます。



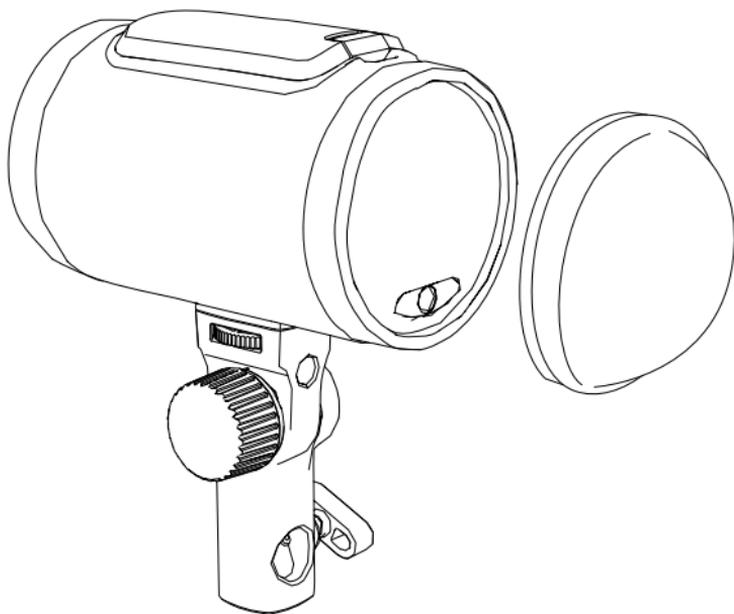
Profoto Clic ライトシェーパーを取り付ける

Profoto Clic ライトシェーピングツールは、マグネット式マウント搭載によりワンタッチでA2に取り付けられます。

- Profoto Clic ツールを取る付けるには、レンズの前部に「カチッ」という音がするまでツールをはめ込むだけです。
- 取り外すには、ツールを引き抜くだけです。

注

A2に複数のProfoto Clic ツールを重ね付けすれば、クリエイティブな可能性は無限に広がります。



基本的な操作

電源オン/オフ

- A2の電源を入れるには、ON/OFF ボタン [9] を長押しします。
- A2の電源を切るには、ON/OFF ボタン [9] を長押しします。

A2 をオフにすると、その時点の設定が保存され、A2 を再度オンにしたときにその設定が適用されます。

節電機能により、A2 は一定時間、操作が行われなければ、自動的にスタンバイモードに入るか、完全にオフになります。スタンバイや自動オフになるまでの待機時間は、設定メニューで選択できます。

スタンバイモードでは、ディスプレイ [5] とテストボタン [9] がオフになります。操作モードに戻すには、A2 の任意のボタンを押します。

フラッシュの出力を調整する

フラッシュ出力設定の数値は、ディスプレイ [5] に表示されます。出力スケールは0.1~10の相対的なf-stopスケールです。最大出力は10として表示されます。1.0 f-stop 減少すると出力は半分になるため、9.0 は最大出力の50%に相当します。

出力を調整するには、ダイヤル [7] を回します。

テストフラッシュをたいて、光の出力設定をテストするには、テストボタン [9] を押します。

定常光

定常光のオンとオフを切り替えるには、定常光ボタン [6] を押します。

設定メニューのナビゲート

- 設定メニューに入るには、設定ボタン [8] を押します。
- ダイヤル [7] を回すと、設定メニューをスクロールできます。
- 設定を変更するには、設定ボタン [8] を押します。一部の設定ではサブメニューが表示されます。
- 前のメニューに戻るには、定常光ボタン [6] を押すか、画面上部の [<] を選択して、設定ボタン [8] を押します。
- メイン画面に戻るには、テストボタン [9]、または定常光ボタン [6] を押します。

設定メニュー

下記の設定はすべて、設定メニューからアクセスできます。

Airグループ

「Air group (Air グループ)」の設定を使うと、Profoto Air でワイヤレス管理したいグループ (A~F) を選択できます。工場出荷時の設定はグループ A です。

注

「Air group (Air グループ)」の設定は、「Air」が「ON (オン)」になっている場合にのみ選択できます。

20

Airチャンネル

「Air channel (Air チャンネル)」の設定を使うと、Profoto Air を使ってワイヤレスにトリガーしたいチャンネル (1~20) を選択できます。工場出荷時の設定はチャンネル 1 です。

注

「Air channel (Air チャンネル)」の設定は、「Air」が「ON (オン)」になっている場合にのみ選択できます。

Air

Air 設定では、Profoto リモートとの無線接続を有効化または無効化します。

Air を ON に設定している場合、チャンネルおよびグループも設定する必要があります。詳細はセクション Set up connectivity with Profoto remotes をご覧ください。

Bluetooth

Bluetooth 設定では、Profoto アプリとの無線接続を有効化または無効化します。

- Profoto アプリで A2 を見つけられるようにするには ON を選択します。
- A2 と Profoto アプリの接続を解除するには「DISCONNECT」を選択します。
- Bluetooth を無効化するには OFF を選択します。

定常光

定常光設定では、出力設定に対して定常光の強さを調整する方法を定義します。

- MAX (最大) : フラッシュ出力の設定にかかわらず、定常光の強さが最大になります。
- PROP (比例) : 定常光の強さはフラッシュ出力の設定に比例します。この設定は、定常光をモデリングライトとして使用する際にお勧めします。

詳細設定

詳細オプションでは詳細設定メニューが開きます。

充電完了信号

「Ready Signal (充電完了)」の設定では、フラッシュ発光後に再充電が完了し、再びフラッシュ発光の準備が整ったことをA2で示す方法を選択します。

- SOUND (サウンド) : フラッシュの準備が整うと、A2はピーツと言う音が鳴ります。
- DIM (ディム) : フラッシュの後で定常光はオフになり、A2がフラッシュの準備が整うとオンになります。
- SOUND & DIM (サウンドとDIM) : フラッシュの後、定常光がオフになります。フラッシュの準備が整うと、定常光はオンになり、A2はピーツと言う音が鳴ります。
- OFF (オフ) : 充電完了信号が無効になります。

注

テストボタン [9] はフラッシュ発光後必ず OFF になり、A2 のフラッシュの準備が整うと再び ON になります。

Control sounds (操作音)

操作音設定では、ダイヤルとボタンの操作音を有効化または無効化します。

Warning sounds (警告音)

警告音設定では、誤露出アラーム音を有効化または無効化します。詳細は誤露出アラームのセクションをご覧ください。

Display brightness (ディスプレイの明るさ)

ディスプレイの明るさ設定では、ディスプレイ [5] の明るさを設定します。

スタンバイ

節電機能により、A2は一定時間、操作が行われなければ、スタンバイモードになるように設定できます。

Auto off (自動 OFF)

節電機能により、A2は一定時間、操作が行われなければ、自動的に電源がオフになるように設定できます。

概要

このオプションには、シリアル番号やファームウェアバージョンなどの情報が表示されます。

Regulatory info (規制情報)

このオプションには、規制情報が表示されます。

Factory reset (出荷時の設定に戻す)

このオプションでダイアログが開いて、すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

接続

A2にはProfoto AirX接続が内蔵されています。AirXは、AirとAirTTLに続く第3世代のProfoto無線接続です。

AirXは以下をサポートしています。

- Profoto Air/AirTTL対応リモートでの無線Air/AirTTL機能。
- AirX対応Profotoリモートおよびアプリでの専用AirX機能。

Profoto リモートとの接続を設定する

以下はA2での基本的な設定手順のみ記載しています。詳細な操作手順については、お使いのProfotoリモートのユーザーガイドを参照してください。

1. A2設定メニューでAirをONに設定します。
2. A2設定メニューで、Profotoリモートで設定したチャンネルと同じものを選択します。
3. A2設定メニューで、グループ(A~F)を選択します。

Profoto リモート使用時のオート (TTL)

オート(TTL)の場合、Airチャンネルとグループ設定が完了していれば、A2での特別な設定は必要ありません。お使いのProfotoリモートでオート(TTL)とマニュアル(MAN)を切り替えて、リモートがフラッシュを自動で調整するかマニュアルでコントロールするかを選択するだけです。

A2は、リモートをマニュアル(MAN)に切り替えた場合、オート(TTL)で設定した出力を維持します。これにより、いわば「露出計」としてオート(TTL)をマニュアル調整の開始点に利用することができます。

リモートによりオート(TTL)が有効になると、**AUTO**インジケーターがディスプレイ[5]に一時的に表示されます。

リモート上でオート(TTL)グループ調整がされていると、オフセットを含めて**AUTO**インジケーターが出力ディスプレイ[5]に一時的に表示されます。

Profoto リモート使用時のハイスピードシンクロ (Hi-S)

ハイスピードシンクロ (Hi-S) の場合、Air チャンネルとグループ設定が完了していれば、A2 での特別な設定は必要ありません。ハイスピードシンクロはリモートまたはカメラで有効化されます。

リモートによりハイスピードシンクロが有効になると、**Hi-S** インジケーターがディスプレイ [5] に一時的に表示されます。

Profoto アプリ

Profoto では、Bluetooth 接続された AirX のさまざまな機能をフラッシュで使用できるようにするアプリをいくつか提供しています。

24

Profoto アプリに接続すると次のようなメリットがあります。

- 素早く簡単な製品登録とファームウェアアップデート。
- スマートフォン、タブレット、デスクトップからのリモートコントロール。
- スマートフォンカメラとフラッシュを接続。

Profoto アプリは Apple App Store、Google Play Store、Huawei AppGallery からダウンロードできます。Profoto アプリの詳細については、Profoto.com をご覧ください。

Profoto アプリを A2 に接続するには、まず Bluetooth を有効にする必要があります (設定メニューのセクションをご覧ください)。次に任意の Profoto アプリを起動してアプリ内の指示に従います。

その他の機能

クイックバースト

クイックバーストは、フラッシュから出力を失うことなくフラッシュの充電速度よりも速いペースで連続(バースト)画像を素早く撮影できる補正機能です。この機能で補正できるフラッシュの数は、設定した光の出力によって異なります。出力を低くすると、長時間バースト撮影を補正できません。フル出力にすると、補正できません

誤露出アラーム

誤露出アラームは、たかれたフラッシュの出力が設定値と完全に一致していない場合にトリガーされます。これは、A2 の充電が完了する前にフラッシュがたかれた場合に発生し、クイックバースト機能もこれを補うことはできません。誤露出アラームがトリガーされると、ディスプレイ [5] の EXP インジケーターが点灯し、設定メニューの警告音が有効になるとは、音声信号も出力されます。

ヘッドオフ

Profoto リモートまたはアプリで「ヘッドオフ」を選択すると、A2 をリモートでヘッドオフ状態に設定できます。

A2 をヘッドオフ状態に設定すると、フラッシュはたかれず、定常光はオフになります。ディスプレイにヘッドオフのマークが表示され、ディスプレイのバックライトが減光します。テストボタンでも消灯します。

Profoto リモートやアプリで「ヘッドオン」を選択すると A2 をリモートで通常の状態に戻すことができます。A2 の任意のボタンを押しても通常の状態に戻ります。

その他

お手入れ方法

A2 をお手入れする際は、中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭きます。その後、別の柔らかい乾いた布で拭きとります。

シリアル番号およびファームウェアバージョン

シリアル番号はA2のバッテリーの下に印刷されています。また、ディスプレイ [5] で「SETTINGS (設定)」>「ADVANCED (詳細)」>「ABOUT (概要)」の順に進んで確認することもできます。

技術仕様

一般仕様

Regulatory model (規制モデル)	PCA1564
型	PCA1564-0000 / PCA1564-0001
動作温度	0°C ~ +35°C / +32°F ~ +95°F
保管温度	通常の室内環境で保管
バッテリー/セル指定	21NR19/66 / 2S1P
バッテリー電圧 (公称)	7.2Vdc
定格容量	2.0Ah
バッテリー充電/放電温度	0°C ~ +45°C / +32°F ~ +113°F
入力電源 (バッテリーチャージャー)	100~240 Vac、50~60 Hz
動作周波数と無線出力電力 (Air および Bluetooth Low Energy)	2402~2480 MHz - <10 dBm EIRP

技術仕様の詳細については、Profoto.com をご覧ください

クレジット

App Store は、米国および他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

Google Play および Google Play のロゴは、Google LLC の商標です。

HUAWEI および AppGallery は、中国およびその他の国で登録された Huawei Technologies Co. Ltd の商標です。

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。Profoto による当該マークの使用はすべて、ライセンスに基づいて行われています。

USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の登録商標です。

その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。

技術データと製品情報は予告なく変更される場合があります。

2022年9月 PGM0036-0000. スウェーデンにて印刷。

Profoto AB
Box 1264
172 25 Sundbyberg
Sweden

+46 (0) 8 447 53 00
info@profoto.com
www.profoto.com

 **Profoto**